

市民が先生に!「ひたまる先生会」発足

12月16日、市人財ネットワークひたまる先生会発 足式が行われました。

これは、市内の各分野(健康や文化、福祉など7分野) で活躍する市民の方を「ひたまる先生」として、広く 発掘・登録・活用し、先生と市民が楽しく学び合える 共有システムを築くことを目的としています。

また、交流を通じて情報交換を密にし、あらゆる分 野で多くの市民が活躍できるよう支援することで、豊 かな人間関係と地域社会づくりに貢献することも目的 としています。

既に登録している方は、書道や漆塗りなどの特技を 持つ57人。来年度から、このひたまる先生会を中心に、 公共施設等を利用し、各種市民講座が開催されるなど、 市の人材育成がさらに推進されるものと期待されてい ます。

また、この先生会を運営するにあたり、8人の推進 委員が決定しました。





▲多岐にわたるひたまる先生が集結

ガスコンロ寄贈

12月20日に山方小学校6年生児童・保護者と茨城 県高圧ガス保安協会大宮大子支部による、「親子ふれ あい料理教室並びにガスコンロ贈呈式」が山方小学校 家庭科室で開催されました。

この催しが実施されるのは今回の山方小学校で3校 目になります。LPガスの安全な使用方法やLPガス を生かした調理方法を学ぶとともに、最新のガスコン ロに触れることにより LP ガス事故の未然防止を図る

ことを目的として、高圧保安協会が推進している事業 です。

開催に先立ち飯田正博協会支部長より冨山郷幸山方 小学校長にガスコンロ8台の目録が手渡され、その後、 寄贈された最新のガスコンロを使用した料理教室が行 われました。参加した児童、保護者は興味深く機器を 操作し、できあがった料理に舌鼓を打つ姿が見られま した。



▲左から冨山郷幸山方小学校長、 飯田正博協会支部長



▲親子で協力



さわやか学園・ミニ門松つくり教室

12月25日、緒川総合センターでさわやか学園創作 教室が開催され、学級生18人が参加し、石川克巳先 生(小舟)の指導のもと、「ミニ門松」を作成しました。

制作上の注意点など説明を受けた後、孟宗竹の桶に わらを巻くところから作業。わらの上から縄を7・5・ 3と巻き、それぞれを正面で固く結びました。桶の上 下に出た余分なわらを切りそろえると、あらかじめ指 導者によって丁寧に束ねられた3本の竹を桶の中心に 置き、持ち寄った松の小枝で形を整えました。最後に 紅白の梅、紙並や扇、お正月にちなんだ飾り物を付け、 思い思いに仕上がった門松を手にし、新年の招福を願 いました。





▲石川先生による指導



▲わらをそろえる様子



▲完成

Ittel

いちご農家 都竹 大輔さん

障がい者の雇用を志して

私は、障がい者の就労を支援 する取り組みを始めました。

もともと、私の妻は「障がい 者を雇えるような農園にした い!」と夢を語っていました。 一方で私は、相づちは打ってい ましたが、なかなか実現には至 りませんでした。

とあるキッカケから、彼らに 働く場所が限られているという現状を知り、試し に施設に通う発達障がいの子どもたちを農園に 招待することにしました。農園見学の最後に「い ちごの出荷箱作り」を1人ずつやってもらうと、 箱が完成した時にはとてもキラキラした目をし ていました。私はこの目にやられました。ちなみ に子どもたちと言っても、20歳前後の青年です。

今では、この取り組みに共感する仲間が増え、 近所のいちご園の方と一緒に活動を続けていま す。一歩引いてしまいがちな障がい者の雇用です が、地域や職種を越えて市全体のやさしいまちづ くりとして広まっていくといいなぁと思います。

るるぶ完成

12月26日、観光スポットやグルメ情報を広くPRす るための観光情報誌「るるぶ特別編集 常陸大宮市・ 大子町」版が完成しました。これは、商工会や観光協会、 筑波銀行、JTB関東が共同で制作したもので、常陸 大宮市と大子町の情報が冊子の半分ずつに分かれて掲 載されています。

大子町とあわせて10万部が発行され、県内外の道 の駅、県内の観光施設などに置かれ、利用者に無料配 布されます。



▲常陸大宮市の観光情報が満載



新春のつどい・常陸大宮市新年賀詞交歓会

1月9日、西部総合公園体育館で賀詞交歓会が開催 され、約300人が出席し新年を祝いました。

開会に先立ちアトラクションとして、市なぎなた連 盟と県立太田第二高等学校なぎなた部によるなぎなた の演舞が披露され、リズムなぎなたや模範試合等が行 われ、たくさんの拍手が送られました。

交歓会では、平成25年中に叙勲・褒章を受章され た方への記念品贈呈、市表彰条例に基づく自治功労者 へ表彰状の贈呈、様々な目的のために寄付寄贈いただ いた個人・団体への感謝状の贈呈を行いました。



▲市なぎなた連盟の皆さん





▲太田二高なぎなた部の皆さん

寒さに負けず、出初式

1月12日、消防出初式がおおみや消防広場(辰ノ口) で開催されました。

1,000人を超える市消防職員や消防団員等が一堂に 会し、士気の高揚と団結の強化を図り、今年1年の防 災に対する決意を新たにしました。また、功績をたた え、団員の皆さんや退団者、消防協力者の方々に表彰・ 感謝状が贈呈されました。

また、今年は、式の後に消防団員による一斉放水 が行われました。



広報常陸大宮・ホームページ

掲載広告募集中!

広報紙 半枠 (縦45mm×横 85mm): 9,000円/回 全枠(縦45mm×横175mm): 18.000円/回

*詳しくはホームページをご覧いただくか、本庁総務課 行政改革推進室(☎52-1111 内線322) までお問 い合わせください。

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



統計功労者表彰

1月22日、茨城県庁で平成25年度茨城県統計功労 者表彰式が開催されました。

表彰式では、瑞宝単光章を受章された木村友さん、 藍綬褒章を受章された塩沢三郎さんの紹介や統計功労 者表彰、感謝状の贈呈が行われました。

●茨城県統計協会総裁表彰

浅川 洵さん (抽ヶ台町) 中崎 荒詞さん (三美) 岡山 勲さん (高部)

●経済産業省大臣官房調査統計審議官感謝状

横山 博史さん (東野) 相田 守治さん (氷之沢)



第60回文化財防火デー

1月26日は文化財防火デーです。

昭和24年1月26日、奈良県の法隆寺金堂の貴重な壁画が焼損する火災が起きました。これを機に、翌年の昭和25年に文化財保護法が制定され、昭和30年より、火災があった1月26日が文化財防火デーと定められました。そして、この日の前後に、毎年全国的に文化財防火運動が展開されています。

1月27日、常陸大宮市においても、教育委員会と 消防本部が合同で、市内合計31カ所の文化財所有・ 管理者を訪問し、消防設備の点検や防災指導を実施し ました。国民共有の貴重な財産である文化財を火災等 から守るため、今後も市民の皆さんのご協力をよろし くお願いします。



▲密蔵院(山方)にて

クリーニング後の古代象ステゴロフォドンレプリカを展示

平成23年度、当時高校2年生だった星加夢輝さん(小祝)が野上地区で、約1650万年前に生息した古代象ステゴロフォドンの頭蓋化石を発見しました。この化石の状態の良さは世界屈指であり、「野上標本」と名付けられて、世界中の注目を浴びました。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館がその後実施した、1年3カ月に及ぶクリーニング作業により、「野上標本」の隠れていた部分があらわとなり、このほど企画展「ジオ・トラベル in いばらき – 5 億年の大地をめぐる旅ー」にて発表されました。世界で初めての成果によって、謎の多かった古代象研究に大きな進展がもたらされることとなりました。

市教育委員会では、身近に感じてもらうため、今年度5月に作成したものとは違う、新たにクリーニング後の 状態のレプリカを作成し、山方公民館1階ホールに展示しました。ぜひご覧ください。

